

平成 29 年度第 7 回人事委員会 会議結果〈概要〉

1 日 時

平成 29 年 6 月 27 日（火） 午後 2 時 00 分～午後 2 時 44 分

2 場 所

人事委員会 審理室（新宿モノリス 25 階）

3 出席者

（委 員）青山委員長、青木委員

（事務局）松山事務局長、矢岡任用公平部長、櫻井試験部長、神山審査担当部長、秋谷総務課長、船川任用給与課長、柴田審査課長、白濱試験課長、伊藤研究調査課長、本間制度改革担当課長、高木審査担当課長、矢部審査専門課長

4 議 事

〈議 案〉

第 15 号議案 平成 29 年度主任級職選考の実施及び同実施要綱の決定について

第 16 号議案 不利益処分についての審査請求について

〈報 告〉

報告第 8 号 職員からの苦情相談について（28 年度）

第 15 号議案 平成 29 年度主任級職選考の実施及び同実施要綱の決定について

標記案件について、事務局から説明を行った。

委員より、種別 A と B の合格者について、将来就けるポストに違いがあるかとの質疑があり、事務局から、違いはないと回答した。

委員より、受験率の低さについて意見があり、事務局から、受験促進の取組が必要であると考えていると説明した。また、事務局から、今までもショートアンサーの廃止や、教養試験の免除制度など、試験の負担を軽減し、受験促進のための取組は行ってきているとことを説明した。

委員より、試験科目は大学で勉強しない科目が多いため、研修を充実させる必要があるとの意見があり、事務局から、試験と研修を併せて見直しを考える必要があると回答した。また、事務局から、研修については、見直しを絶えず行っており、実務に役立つ研修も多くなってきていることを説明した。

審議の結果、委員全員の賛成により、原案のとおり決定した。

報告第 8 号 職員からの苦情相談について（28 年度）

標記案件について、事務局から説明を行った。

委員より、平成 28 年度の相談件数が増加しているが、パワーハラスメントや・セクシュアルハラスメントの件数も増えてきているかとの質問があり、事務局から、件数は年々増加傾向にあること、その理由としては、ハラスメント関係は各局にも窓口があり、各局に言ったもので人事委員会に来るものもあるが、各局に言うのが嫌で直接人事委員会に来るものがあるなど、相談しやすい体制となったことなどから件数が増えている旨を説明した。

委員より、相談件数が増えていることから、ヒヤリ・ハットのようものがこの相談制度にひっかかることがあるため、組織全体として手を打つ必要があるのか等を考えることが大変重要である。そのためには、全体のガバナンス等も見必要があること、苦情相談の内容を分析することにより、見えてくるものがあるのではないかと思うので、経年的に分析をしていく必要があるのではないかとの意見があった。

委員より、「パワハラ・いじめ」の区分においてパワハラといじめが重複するケースの有無について質問があり、事務局から重複するケースがある旨説明した。

〈以下、非公開案件〉

第 16 号議案 不利益処分についての審査請求について

次回開催日程について

次回委員会を平成 29 年 7 月 11 日（火）午後 2 時 00 分から開催することとした。